

小林調節池位置図 (S=1/50,000)

埼玉県土整備部河川砂防課 〒336-8501 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1 Tel:048 (824) 2111 (代)  
 埼玉県杉戸県土整備事務所 〒345-0036 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字杉戸432 Tel:0480 (34) 2381 (代)

平成15年5月作成

一級河川利根川水系 やどおり 野通川

# お ばやし 小林調節池



埼玉県

# 小林調節池の概要

## 調節池の概要

小林調節池は南埼玉郡菖蒲町に位置しています。面積13.8haの掘込み式の河川調節池で、野通川の洪水調節を行います。周囲堤、越流堤、排水機場、排水樋管、連絡樋管等の施設で構成されます。

洪水は、河川堤防を一部低くした越流堤から野通川の水位上昇により自然に調節池内に流入させます。

調節池は町道及び県道をはさんで3箇所に分割されており、調節水は連絡樋管を通して各池に分配されます。調節水は洪水が終わり河川の水位が下がった後に、自然流下やポンプにより野通川に排水します。



航空写真

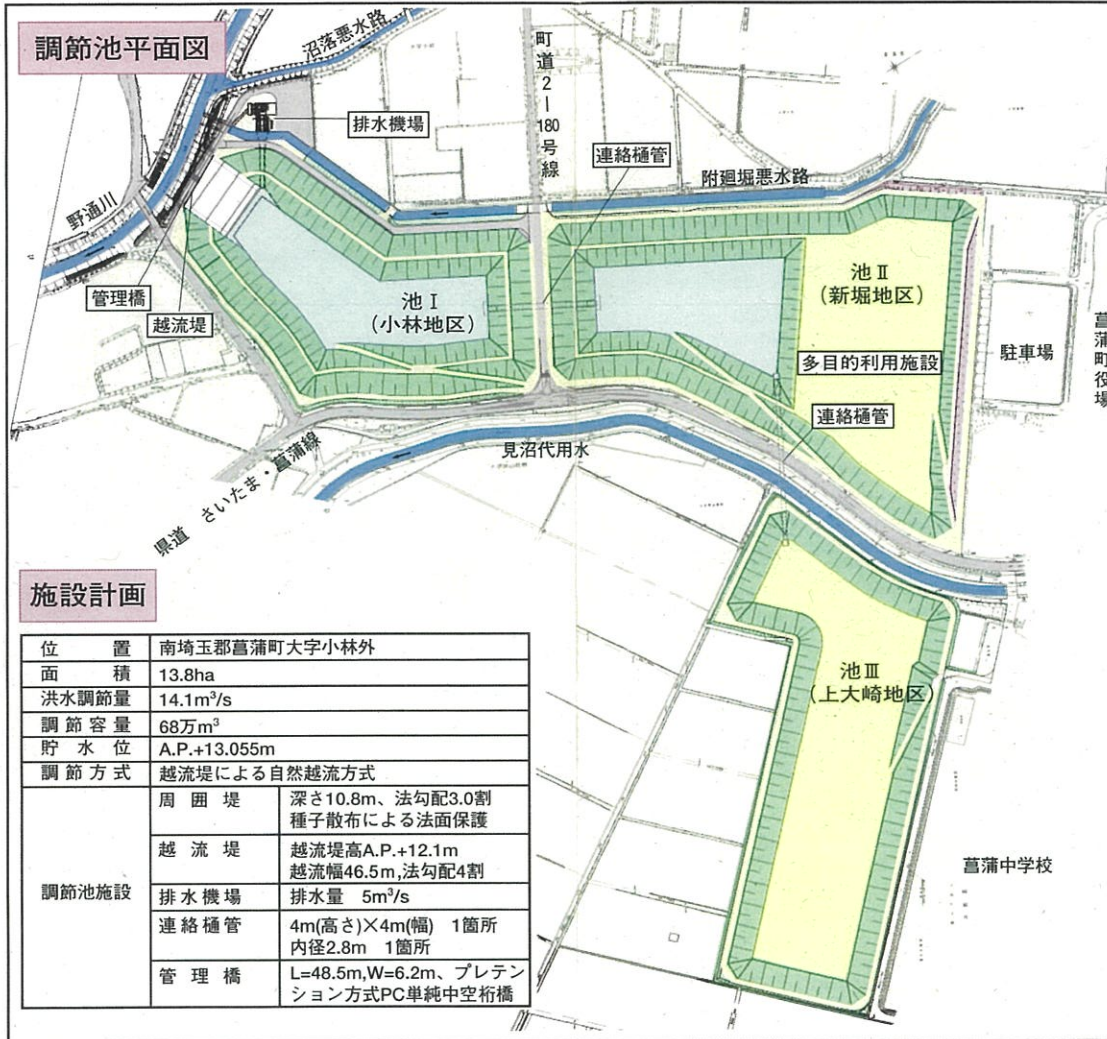
## 工事の概要

調節池の工事は調節池内に地下水が湧出することを防ぐための遮水壁設置工事から行います。遮水壁工事が済んだ後、小林地区より調節池の掘削工事に着手します。

調節池の施設では、治水効果の早期発現を目指して越流堤および排水機場の建設工事を優先的に進めます。同時にこれに付帯する管理橋、附廻堀水路の付替え工事等を行います。その後、連絡樋管の工事を新堀地区、上大崎地区の掘削に合せて順次行います。

なお、工事は排出ガス対策型、低騒音型等の施工機械を使用し、周辺環境に配慮した方法により実施する予定です。

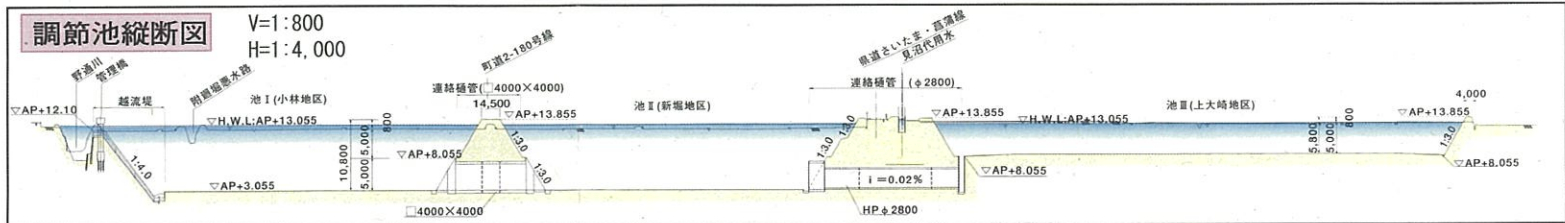
## 調節池平面図



## 施設計画

位置	南埼玉郡菖蒲町大字小林外	
面積	13.8ha	
洪水調節量	14.1m <sup>3</sup> /s	
調節容量	68万m <sup>3</sup>	
貯水位	A.P.+13.055m	
調節方式	越流堤による自然越流方式	
調節池施設	周囲堤	深さ10.8m、法勾配3.0割 種子散布による法面保護
	越流堤	越流堤高A.P.+12.1m 越流幅46.5m、法勾配4割
	排水機場	排水量 5m <sup>3</sup> /s
	連絡樋管	4m(高さ)×4m(幅) 1箇所 内径2.8m 1箇所
	管理橋	L=48.5m、W=6.2m、プレテン ション方式PC単純中空桁橋

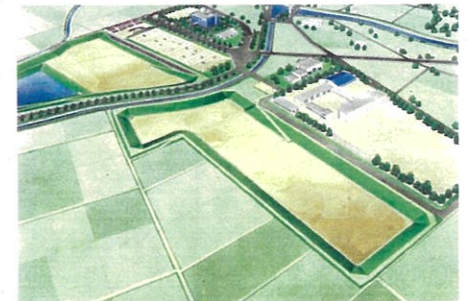
## 調節池縦断面図



## 多目的利用施設計画

現在、小林調節池の建設予定地は田んぼ、親水公園、多目的グラウンド等に利用されています。また、菖蒲町役場や菖蒲中学校などの施設が隣接しています。役場周辺および調節池の堤防予定地の一部にはラベンダー畑がつけられており、人々の憩いの場となっています。

河川は誰でも自由に利用することができるものです。中でも、調節池のようにまとまったスペースは非常に貴重であり、小林調節池は周辺公共施設ともあいまって、町の中心に位置するオープンスペースとしての利用が望まれています。



多目的利用施設イメージ図

## 野通川流域の概要

### 【流域の概要】

野通川は流域面積52.53km<sup>2</sup>、流路延長14.40kmの一級河川です。行田市小針付近に端を築し、川里町、鴻巣市、騎西町、菖蒲町を南東方向に流下し、白岡町柴山で元荒川の左岸に合流しています。

### 【流域の成り立ち】

野通川が位置している元荒川流域の低地は、中川、綾瀬川、古利根川等の河川が氾濫した低地です。これらは、いずれも利根川と荒川のむかしの流路や氾濫源でした。その地形は、大半がこれらの流路沿いに発達した自然堤防とその後背湿地からなっています。

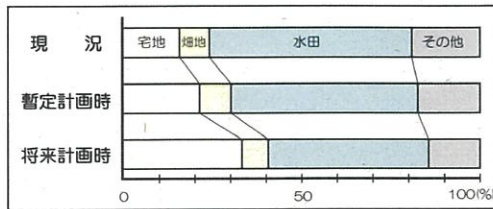
### 【土地利用の変遷】

野通川の流域はおもに水田として利用されており、平成13年現在、市街化はそれほど著しいものではありません。しかし、上流部の行田地区では、工業団地を含めて市街化の傾向が見られ、洪水時の雨水流出量の増加が予想されます。

流域全体の宅地化の傾向はグラフに示すとおりで、将来計画実施時には流域全体の約3割が、宅地となることが予想されています。



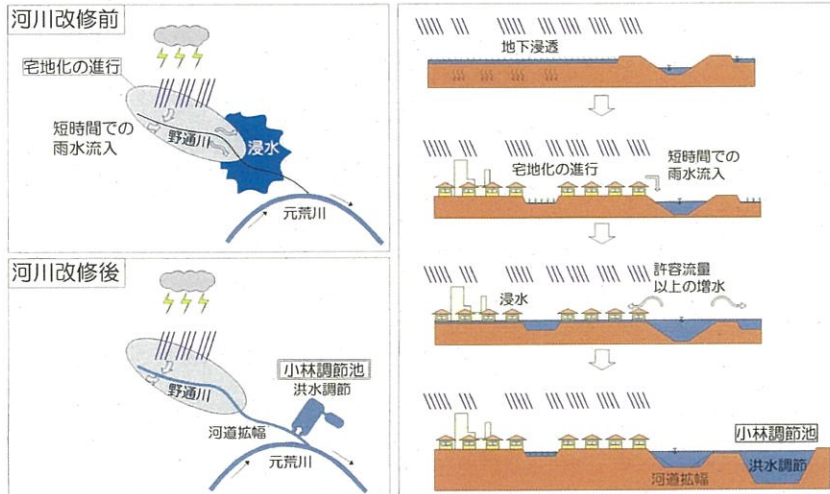
浸水被害の状況  
(平成8年9月撮影)



土地利用の変遷

## 野通川の治水対策

宅地化の進む野通川の浸水被害を軽減するため、河川の改修工事が進められています。小林調節池は、河川改修の一環として整備され、河道改修とあいまってその効果を発揮します。

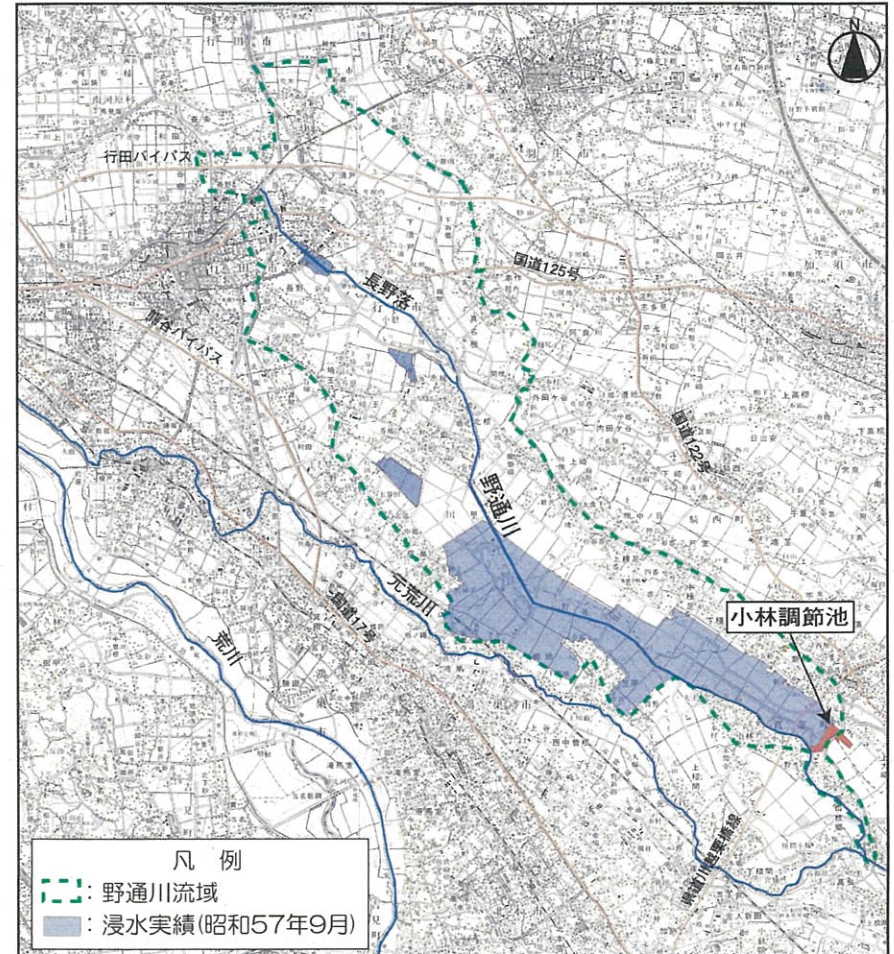


## 小林調節池の役割 -野通川改修計画の概要-

### はじめに

埼玉県行田市から白岡町を流れる野通川の流域は、これまでたびたび浸水被害にみまわれてきました。

小林調節池は、野通川流域をはじめとした元荒川流域全体の浸水被害を防ぐために設置する洪水調節池です。野通川の洪水のピークを抑え、下流側の元荒川への洪水流入量を軽減します。



野通川流域浸水実績図（昭和57年9月洪水、縮尺1/100,000）